

テーマを設定する

作ることが好きな子どもが多く、日頃から制作を楽しんでいた。保育室の制作コーナーは、豊富な素材を用意し、仕切りを活用して囲まれた空間を作るとともに、遊び途中の玩具を保管できる棚も設置している。このような環境により、制作遊びに集中して取り組み、友達と試行錯誤しながら継続的に遊ぶ姿が見られていた。また、海の生き物は人気で、制作やブロックで様々な海の生き物を作り楽しんでいた。さらに、子どもたちには、これまでの行事を経て、ひとりひとりが自由に表現することを楽しみ自信をもつようになってきている姿が見られていた。今回のテーマのもとで、海のイメージを広げながら伸び伸びと表現することを楽しみ、さらなる興味関心を高めていきたいと考えている。

活動 ワークショップ

うみに関連する絵本や、園外活動で訪れる予定の水族館で見られる生き物の姿から、想像力を膨らませて、身体表現をしたり、オリジナルの海を描いて遊ぶ活動を実施。

環境をデザインする

準備物：ハترون紙、クレヨン、養生シート、スズランテープ、ビニール傘、クリアファイルほか

探究活動を実践する

●活動内容

1. 絵本を導入として、ペンギンになって身体を動かす。
2. 海の生き物の動きを身体で表現。
3. 紙芝居を読み、イメージを膨らませて、自分たちのうみを描く。さまざまな海の生き物を描いたり、色をぬったりする。
4. 作った海を鑑賞。頭上ではためかせたり、筒状にしてトンネルを潜って遊ぶ。
5. 両面テープとスズランテープのついたベルトを装着。紙の海をやぶって、その破片をベルトに貼付け、海の生き物に変身する。
6. 自由に動き回ったり、海の破片を紙吹雪のように浴びたりして遊ぶ。

●子供たちの様子

- ・アーティストからの海の生き物に関する問いかけに対して、自分の生活と重ねながら答える姿が見られた。また、知っている言葉を使って説明することができていた。
- ・身体表現、絵を描く活動の両方を行ったことで、それぞれが、好きなこと、得意なことを活かして、集中して遊ぶ姿が見られた。

活動スケジュール(5歳児クラス)

活動内容	実施日	時間/回	人数/回
① ワークショップ 講師：たけうちみずゑ(俳優)他2名	R7.12.4 (木)	60分程度	20人
② イケバスでの園外活動	R7.12.12 (金)	4時間程度	21人
③ 水族館づくり	R8.1.13 (火)～ R8.3.7(土)	30分～1時間程度	21人



振り返りをふまえた気づき

●保育士から

- ・年長クラスですずっと取り組んできた「自由な創造と自発的な表現」が、今回の開放的なワークショップの場で開花した。子どもたち全員が夢中になって創作活動に取り組めたことが嬉しく、印象深かった。
- ・絵本や紙芝居からイメージが膨らみ、さまざまな海の生き物のアイデアが生まれ、身体表現も制作もダイナミックに楽しむことができた。
- ・音や視覚の工夫によって、物語の世界観を体感でき、引き込まれていた。水族館への遠足がますます楽しみになっていた。